**2025年日本国際博覧会空飛ぶクルマ広報PR等業務**

別添１

**企画提案書作成要領**

提案書は、「2025年日本国際博覧会空飛ぶクルマ広報PR等業務」仕様書（以下、「仕様書」という。）を理解したうえで、以下に基づいて作成すること。

1. **共通事項**
2. A4判横とし、横書きとする。
3. 文字サイズ10ポイント以上とし、各頁に頁番号を記載し、上部綴じファイルに編綴すること。
4. 片面印刷で15ページ以内（表紙は頁数に含まない。）とし、片面カラー印刷とする。
5. ファイル表紙（及び背表紙）に、案件名と応募者名（応募者名は正本のみ）を記入すること。

＜記入例＞

「2025年日本国際博覧会空飛ぶクルマ広報PR等業務」提案書

株式会社○○（法人名）

1. 副本については、企画提案書中の応募者名及び応募者を特定できる箇所「（法人名、所在地、代表者名、ロゴマーク、グループ企業名等）にはマスキングの処理を行うこと。なお、企画提案書中において「当法人」といった記載は差し支えないが、具体的な名称を類推できる表現は避けること。
2. 副本について、応募者を類推できる表現があった場合、応募者に連絡することなく協会において当該箇所にマスキング処理を行うことがある。
3. 提案内容は、その考え方等について、文章、表、図等を用いて簡潔かつ明瞭に記述すること。
4. 仕様書の記載事項について、どのように実現・提供していくか等、手法・方策等の提案に関して、わかりやすく具体的に記述すること。
5. 仕様書等と同等の内容については、できるだけ資料名、章番号、頁による引用に留め、簡潔に記述すること。
6. 企画提案書に記載した内容に係る費用については、すべて応募金額提案の中に含むものとすること。

【提案にあたっての留意事項】

業務実施体制については、各責任者や担当者の実績や能力を踏まえて、具体的にどのような業務を実施するか提案すること。

共同企業体として応募する場合は、各構成員の実績や能力を踏まえて、どのような業務分担により業務を実施するか提案すること。

全体事業スケジュールを見据え、事業推進が円滑に進むように本業務に取り組むこと。

1. **企画提案書に求める事項**
2. 企画提案

業務目的、内容及び仕様書を踏まえ、次の①～③に掲げる項目について明記した企画提案とすること。

1. 大阪・関西万博「未来社会ショーケース事業」のコンセプトと合致し、身近に未来の空の移動を感じられる内容の提案
2. 空飛ぶクルマの社会受容性向上を実現するための施策の提案
3. 来場者満足度向上施策の提案

・本業務の目的を効果的に遂行できるような独創性のある提案であることが望ましい。

1. 業務実施計画

業務実施体制並びにスケジュールは各１頁以内とし、企画提案書に含めること。

1. 業務実施体制

・業務実施体制について、全体を一元管理する統括責任者を配置すること。

1. スケジュール

・業務開始から業務終了までの工程表を作成すること。

・協会において対応が必要な業務があれば、明記すること。

以上